

議会 TOPICS トピックス



議会モニターへ委嘱状を交付 (11月26日)

第1回清水町議会モニター会議が、役場3階第2委員会室で行われました。

加来良明議長から委嘱状が手渡されたあと、鈴木孝寿議会運営委員長から制度の説明があり、モニターの役割などについての質疑応答が行われました。

本会議や委員会等の傍聴、意見の提出、調査事項への回答、議員との意見交換、会議などを通じて、議会モニターから出された意見や提言を議会の活性化につなげていきたいと考えています。

議会モニターは次の10人の皆さんです。
任期は令和3年3月31日までとなっています。

清水町議会モニター

有澤 輝彰 さん	鈴木 謙三 さん
出田 牧子 さん	重村 梓 さん
太田 昌洋 さん	高橋 利幸 さん
大塚 友美 さん	徳田 貴士 さん
大野 春雄 さん	樋口 貴弘 さん

閉会中の委員会活動

3月定例会までの調査事項は次のとおりです

総務産業常任委員会

- ・ふるさと納税の取り組みについて
- ・その他所管に関する事項について

厚生文教常任委員会

- ・新保育所・御影こども園・幼稚園の運営について
- ・その他所管に関する事項について

広報広聴常任委員会

- ・議会広報紙の編集及び発行について
- ・その他議会の広報及び広聴に関する事項について

議会運営委員会

- ・議会の運営とその諸規定について
- ・議長の諮問に関する事項について

議会のうごき (11月15日～2月14日)

11月	26日	議会運営委員会 議会モニター会議
	29日	全員協議会 厚生文教常任委員会
12月	3日	議会運営委員会
	10日・16日・17日・19日	第6回町議会定例会
	10日・16日	総務産業常任委員会
	16日	厚生文教常任委員会
1月	17日	広報広聴常任委員会
	8日・23日・30日	広報広聴常任委員会
	21日	総務産業常任委員会
2月	10日	厚生文教常任委員会

委員会 レポート

委員会活動として閉会中に行った所管事務調査の内容を、各委員会は第6回定例会において報告しました。

※内容は要約されています。報告書の全文はホームページでご覧になれます。

厚生文教常任委員会 調査報告

高等学校振興に対する支援策

調査日 令和元年7月31日、10月21日、
11月5日、6日、11月29日

〔清水高等学校振興会〕

清水高校の定員割れの主な要因は、帯広市内の私立高校の一部が定員を上回る入学者を受け入れていること、国や道の私立高校に対する授業料負担軽減制度の拡充などにより、町外から交通費と時間をかけて清水高校へ入学する生徒が減ったことが大きい。

〔札幌新陽高等学校〕

そのような状況であるが、十勝管内をはじめ釧路まで学校訪問や学校説明会等を多数開催し、清水高校の魅力伝える活動に取り組んでいる。また、全生徒を対象に資格取得検定料・模擬試験受験料の一部補助、進学講習テキスト代・インターネット進路講習受講費用の補助、進路開拓、

材が求められており、偏差値重視から経験値を重視した取り組みをいち早く展開することで人気校となり、入学者を増やしている。

〔北海道科学大学(高等学校)〕

普通科に特別進学コースと進学コースを設け、自主的な放課後学習の場を提供する「塾」を開設している。iPadを貸与(通信料等は保護者負担)し、授業の映像で予習することを前提とした「反転授業」も進めている。また、海外研修制度が充実しており、留学費用の全部又は一部免除者を、応募者の中からプレゼンテーションで選抜している。部活動は9種目で全国大会へ出場している。人間的な成長を重視し、文武両道を目指している。

〔総括〕

公立高校は私立高校と

違い、独自に取り組めることが限られているが、以下の3点について検討されたい。

1つ目は、総合学科の魅力をどうアピールしていくかという点。5つの系列や進路チャレンジクラス等の詳細な内容、部活動、スイーツやパン作り等の実績を分かりやすく伝えることが重要である。そのためには、広告代理店を利用するなどパンフレットの充実が必要である。

2つ目は、募集活動をする際、ターゲットをどこに絞るかという点。学校訪問や学校説明会等を多数開催し努力されているが、そのほかに、少人数の母親等を対象にした説明会や座談会等が可能かどうか一考に値するのではないかと考える。3つ目は、教育カリキュラムの充実で、その1つがICT教育の充実である。視察先の2校とも

ノートパソコンやiPadが生徒一人ひとりに配布されており、ICT教育を積極的に取り入れている。

地元の高校に入学してよかったと思えるような魅力を高める取り組みを、引き続き関係機関が協力して取り組まれることを期待し所管事務調査の報告とする。

